

令和3年度第1回釜石市スポーツ推進審議会 開催結果

1.開催日時 令和3年11月5日（金）18:30～20:00

2.会 場 シープラザ釜石 2F 会議室

3.出席委員 6名

小 泉 嘉 明	会長	下 村 恵 壽	委員
三 浦 康 男	委員	寺 田 恵 美 子	委員
佐 藤 千 依	委員	千 葉 裕 之	委員

4.欠席委員 4名

小 笠 原 加 代 子	委 員	佐 々 木 ひ づ る	委 員
菊 池 勝 彦	委 員	佐 々 木 猛	委 員

5.事務局 6名

佐 々 木 育 男	文 化 ス ポ ツ 部 長
佐 々 木 豊	ス ポ ツ 推 進 課 長
神 山 篤	主 幹 兼 ラ グ ビ エ の ま ち 推 進 係 長
山 崎 強	主 幹 兼 ス ポ ツ 推 進 係 長
植 田 真 治	主 任
中 畑 圭 介	主 事

7.傍聴者 (株)日刊岩手建設工業新聞

8.経過

(1) 開会 スポーツ推進課山崎主幹

山崎主幹より当会議の委員10名中6名の出席しており定足数を満たしていることを告げ、会議の開会を宣言した。

(2) あいさつ 文化スポーツ部佐々木部長

本日は大変忙しいところお集まり頂きまして大変ありがとうございます。それから市政のいろんな場面で皆様にはご理解とご協力いただいております。この場をお借りしまして御礼を申し上げさせて頂きます。

今年も新型コロナウィルスが感染、猛威を振るっている中で今年一番のスポーツの話題と言えばオリンピック・パラリンピックだったと思いますが、残念ながらほとんどの競技が無観客開催ということになってしまいました。メダル獲得数は過去最高であったこと等ほんとにたくさんの感動をいただき、スポーツの力が大いに発揮された大会になったんじゃないかなと思っております。

ただコロナについては岩手県のほうでも8月から9月にかけて県独自の緊急事態宣言が出されまして、文化スポーツに関するイベント、事業がほとんど中止、あるいは延期と言う形になってしましました。市の公共施設も臨時休館など余儀なくされたところでございます。いつもこの審議会については8月までに開催していたんですが、そういう事情もあって今日の開催になってしましました。ご容赦頂きたいと思います。

先月くらいからコロナの感染が収束に向かっておりますが、まだ安心はできない第6波の想定もありますが、こう巷を見ますと人の動きが少しずつ戻ってきている、活発になってきているんじゃないかなと感じています。今月に入って市内の大きなイベントが開催を予定されております。

明日、明後日に防災推進国民大会が TETTO を中心に開催されますし、来週の金曜日から 3 日間は同じく市民ホールを会場に市民芸術文化祭が開催されます。そして 14 日の日曜日はラグビーのメモリアルイベント、これはわたくしどもが県と関係機関と実行委員会を組織して準備を進めているところでございます。やっとこのようにイベントが開催できるようになったと思っていところですが、基本的な感染防止を十分に注意しなければならないと思っているところでございます。

そして本日の概要でございますが、まずは報告事項として、令和 2 年度の事業報告及び 3 年度の事業計画、そして新たなスポーツ施設の整備について報告させて頂きます。そして協議事項では次期スポーツ推進計画の策定について、現在の計画は震災後の平成 24 年度に策定したもので今年度末をもって計画満了となります。現在、新しい 10 年間の計画の策定作業を進めております。これは当市、スポーツ行政の指針となる大事な計画でございますので、これをどうかみなさんの忌憚のない意見を頂いた上で良い計画を作ってもらいたいところでございます。では簡単ではございますが、以上をご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願ひ致します。

(3) 委員紹介 山崎主幹進行

名簿順で出席委員を紹介。

(4) 議長選出 山崎主幹進行

それでは、早速議事進行に入りたいと思いますが、部長からの説明のとおり、今般コロナ対策として概ね 90 分を目安に会を進めさせていただくのでご協力お願い致します。

議事の進行につきましては、審議会条例第 5 条の規定によりまして、会長が議長となりますので、会長であります小泉先生に一言ご挨拶を頂いたのちに進行をお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひ致します。

(5) 議長挨拶 小泉議長

では、議長を務めさせていただきます。よろしくどうぞお願ひします。コロナ禍ということもあります、概ね会議時間は 90 分ということとなります。只今、部長さんより挨拶があったとおりコロナ禍になって 1 年半から 2 年が経過していますが、この制約のある生活でみんな疲れ果てています。たまに児童のスポーツ大会など行われた事によって、ケガによる通院もちらほら見受けられます。これまでコロナ中心の診療であったものが、このような診療をすることにより通常の生活環境に戻りつつあるのかと感じます。コロナ対策は皆が頑張っていますが限度があるし、頑張ったからって収束するわけでもないです。世界中ではまだ感染者の変動がありますが、日本は落ち着いている状況にあります。かといってこのまま収束するとは思っていません。

でも基本的にウィルスは必ず緩むんです。どこかで増えだしたら一気に拡大します。そのためにも基本的には負けない体を作り、そこに生きていくことの価値観をみんなで共有していかなければと思います。スポーツなど行っている方々は免疫能力高く保てると確証持って言えます。

スポーツはものすごく力があります。コロナ禍で疲れ切っているのにオリンピック観戦により疲れも取れますよね。それだけでも感染を押さえるという力が付くのではと思って観戦していました。

私たちも釜石ではラグビーワールドカップが開催できましたが、やはりスポーツの力とか非常に重要なと思っておりますし、これから先もまちづくりの流れの中でやはりスポーツが一つの

大きな柱となることを肝に銘じてですね、私たちも進みたいとは思います。

それではさっそく議題に入りたいと思います。報告事項で報告 1 令和 2 年度事業報告及び令和 3 年度事業計画について、報告 2 新たなスポーツ施設の整備につきまして併せて事務局より報告をお願いします。

引き続き、議長の進行で協議に入る。

(6) 報 告 山崎主幹

報告事項 2 項目を説明し、一括説明の後に質疑に入りました。

報告 1 令和 2 年度事業報告及び令和 3 年度事業計画

資料に報告 1 に基づき説明。

報告 2 新たなスポーツ施設の整備について

資料に報告 2 に基づき説明。

昨年度のスポーツ推進審議会において新たなスポーツ施設の整備としてテニス場に関しては第 6 次総合計画内の実施計画において、令和 5 年度までに着手できる予定で策定は一応されております。ただし設置する際の財源確保が課題になっております。いずれこの会議で審議して頂いた新たな施設の一つを実施計画のほうに計上させて頂いたというところを委員のみなさんに報告させて頂きます。以上です。

(7) 報告に関する質疑

議 長：新設予定のテニスコート面数は？

事務局：昨年度の当審議会で説明したとおり 4 面を予定しています。

委 員：新設にあたっての経費はどれくらいですが？

事務局：昨年度の当審議会で説明したとおりで 60,000 千円と試算しています。

委 員：市が財政難なことは理解しているので、補助制度などを上手く活用できるようお願いします。

(8) 協 議 山崎主幹

協議事項 1 項目を議題として提示し、一括説明の後に質疑に入りました。

次期スポーツ推進計画の策定について、これまでの計画に対する振り返りや、事業等実施を踏まえ生じた反省点を生かした内容での次期推進計画について、資料に基づき説明。

(9) 協議に関する質疑

委 員：10 年計画を予定しているが、10 年後の背景について、基本的な人口は試算できるが、全体の整合性や日本全体の流れを考えると 10 年後を想定した計画は厳しいのでは。

事務局：この計画は第 6 次釜石市総合計画なってましてそれに 5 年後の目標水準 10 年後の目標水準をのせてるわけなんですけども、総合計画の分野別計画、要は総合計画にある骨子に肉付けして計画になるんですね。ですのでできれば 10 年としたいと…5 年後に見直

しするっていうことをきちんと入れとくということが必要なのかなと思いますね。おっしゃるとおり 5 年後がらりと変わってる可能性はありますので。

委 員：たとえば中学校の部活の問題において、できるだけ地域の総合型クラブへ移行の方針となっていくが、あと 3 年後には部活のあり方、総合型スポーツクラブ型のあり方それともっと審議しなければならない。子供たちが地域でスポーツ活動したい状況において、総合型スポーツクラブは釜石では「すぽこんクラブ」しかない。他地域で作ろうとしたけど失敗した経緯もあり良い指導者とかあるいはその事業を理解した市側の対応が理解されなかつたことがあった。

また、当市でスポーツを通じた大会や合宿を誘致するには、差別化を図り釜石独特の自然・海・仙人峠などの付加価値をつけなければ、道路交通網が整備されてからは更に滞在が無くなり通過型になっている。何かの付加価値を付けないと交流人口は生まれないと思う。

事務局：委員より説明があったとおり、当課だけで交流人口を目的とした事業にも限度があるので、観光部門などと連動しなければならない。

また、学校とクラブとの関係についても、地域に移行するまでの間に教育委員会との連携も図らなければと考えております。

委 員：県教育委員会から釜石市内で部活を地域のスポーツ団体にゆだねた場合に受け入れ可能な団体が何団体あるか調査があった。各地域によってそれぞれ取り組みがあり、例えば野球だけとすれば唐丹ではできないから大平と一緒にったり合同で受け入れており、だからその地域で指導できるぐらいの人がいるかどうか調べているが受けるって団体とか指導者は限られてくる。スポーツ少年団も 21 団、団員数 425 人ぐらいに減少し、少子化が原因だが、スポーツをやらない子供が増えてきている。スポーツ少年団への加入率が低下していると思う。児童のスポーツに触れあう機会作りとして女子高生が高齢者と子供たちのスポーツフェスティバルを平田球場で 2 回実施した。その時も大体 40 人くらい集まった。このような機会を施設の指定管理の中で企画するっともっと利用価値が増えると思うし、やりたい、やってみたいって言うのが出来て来る。決してスポーツは嫌いじゃないと思う…。スポーツが活性化してくる。

例えば、今年東海市との交流がコロナで中止になったけども、唐丹湾に連れてって船釣り体験など価値を付ければ釜石に行きたいと思う。

事務局：東海市からも釜石らしさを求められており、防災教育や自然を取り入れ、第 3 者目線で客観的に価値を見出せる内容での交流事業に展開出来るよう取組みたい。このような具体的な取組みとして次期の計画の中に取り入れたいと思います。

委 員：高齢者の健康増進活動、公民館単位で活動が展開されており、12 月 4 日に開催される公民館対抗ニュースポーツ交流大会に向けて各地域は盛り上がっている。やはりスポーツにおいては対抗意識がある。唐丹地区では、12 月 4 日に備え、町内会対抗の予選を実施するみたいだ。

事務局：まさに委員のおっしゃるスポーツに触れ合う機会が大事だっていうのがそこにあるという風に我々もとらえてまして、その公民館対抗ニュースポーツ大会を実施することによって普段やったことのないグランドゴルフ人口が増えるなど徐々にスポーツに触れ合う機会を増やしていくことも非常に大事だとは思います。

先ほどお話ししていただいたスポーツ少年団の人数の件ってところも課題かと思ってまして、総合型スポーツクラブとして頑張ってるのは、唐丹すばこんさんだけしかないとと思ってまして、釜石シーウェイブスも総合型スポーツクラブには登録はしているんですが、総合型スポーツクラブの概念が多世代多種目のスポーツに取り組んでいるかどうかという所が一番の課題でして釜石シーウェイブスについてはもうほとんどラグビーしかやってないっていうところから次期の総合型スポーツクラブから外れてくるのかなと捉えてました。

その総合型スポーツクラブの育成っていうのは子供たちの受け皿にも繋がってくるんじゃないかなと。学校の部活動の必修化が無くなる中で、スポーツをしたい子供たちはこのようなところで受けしていくしかないのかなっていう風に我々も考えておりました。

委 員：子供たちに、スポーツをやるきっかけを与えればと思う。一番良いのがラグビーワールドカップ終わった後にラグビーのスポーツの団員が25人増えた。

何か大きな切っ掛けを与えれば結構スポーツに親しめる環境はできると思う。ただその環境を私達が作ってやるのが一番の役目だと思う。

委 員：市内ではミニバスケットが盛んになっており、小佐野が盛り上がっているように感じる。

委 員：小佐野単体ではないですが周りの小学校が小佐野のクラブチームに参加しています。

委 員：小学バレーも最近栗林ラビーが県大会で優勝して高いレベルとなっている。

事務局：ミニバスの子供たちが成長してって今年の釜石中学校のバスケット新人戦優勝につながったんですかね。

事務局：今のお話は次期スポーツ推進計画の基本目標1のスポーツの振興の部分において市民が日常的に運動する機会の増加創出を充実した内容に検討します。

議 長：現代の子ども達のスポーツ環境は、親御さんが働きながら子ども達の送迎をしたりと大変な環境と思える。今の時代だから両親とも働いてるわけだからその中で分担しながらできるような働き方改革も必要ですね。都会と異なり、田舎はつながってるはずなのに逆につながってない。都会の方はみんなつながって川崎フロンターレやベイスターズが良い例ですが地域の連携を図れるような素晴らしい人抱えてる。みんな結局知り合いでないんだよね。今の社会がものすごく希薄になってると感じる。日頃、意外といつも見た顔なんだけども、実際は知らない。で、その見ない顔はどのぐらい居るかっていうとほとんど見てないのかもしれないよ。見た事ある方とZOOM会議やっていても見たことあることだけで、繋がっていないなど。参加しやすい環境があってもその会議で黙

ってると何にも関係性が生まれない。人との関係性を構築できなくなったらどうしようもない。関係性があるから住み良いことあるんだけども関係ないって言ったらきつい。

委 員：子ども達の大会があっても、昔は団体で移動していたけど、いまは家族単位となっている。現地集合、現地解散で、その大会以外では全然付き合いが無くなり交流が希薄になってきたと思われる。地域のつながりってすごく大事なことだよね。

委 員：家庭環境によりスポーツ少年団に入団できていない場合でも、単発的に実施した野球体験や、低年齢集団でふれあう体操教室に参加していただくケースがあります。そこで子供の楽しい顔を見て、親御さんも頑張ろうと言う気持ちになったとも聞きます。小さい子供達が運動に親しむ機会の計画や、企画を沢山行うことにより、子供たちが運動に親しむ動機作りになります。高齢者でも外に出て体操をしたいという人がまだ少なくて、運動の楽しさを味わうべき企画を作つてあげることによって、健康体操やニュースポーツに触れあう切っ掛けづくりになると思います。結果的にスポーツを通じたまちづくりが可能になると思います。

私が衝撃を受けたのが重度の障害を持った人が全く運動に親しむ機会がなくて、スポーツ環境を与えることにより、できないながらに楽しさを味わつて楽しんでいる場を目の当たりにしたときにスポーツ環境の提供は大事だなとすごく感じました。

スポーツを通じて、新たな交流ができ、そこで知り合った方々と助け合えるとか希薄化しないというのもつながるのかなと思いました。

事務局：ありがとうございます。みなさんから多大なご意見はほとんど基本目標 1 の誰もが楽しめるニュースポーツや軽運動も含めて市民が日常的に運動する機会の増加に努めると言うところに尽きるかなと思います。この部分を膨らませた形で次期計画の中心の柱として計画したいと捉えております。ありがとうございました。

委員の皆さんから出された意見を具体的な取り組みとして盛り込んでいきたいと思っております。今日の委員の意見で、指定管理の自主事業で具体的に取り組んでおり発展性があり今後もこのような活動が増加することに頼もしさを感じました。

議 長：指定管理そのものの考え方も、私の町をつくるとか、自主的且つ、基本的な理念がないといけません。市も委託したから安くできるって考えが間違と思う。だったら指定管理しない方が良い。指定管理受けた方はそれなりの収益をちゃんとあげながらみんなにサービスを提供して人が集まれことをやるから指定管理と思う。自主的な行動や基本理念が無い指定管理であっては駄目。指定管理料も安くするのがいいことじゃない決して。指定管理は考えたほうがいいです。受けた方が損したら嫌だもんね。ちゃんと給料も払えるようにそこで。少しは高くてもいいんだよね。頑張ってもらえば、市民のみんなが喜んで動く。みんなに還元できるような、社会がまわるような考え方を持ちながらやっていくものです。

委 員：いま意見があったように、ラグビーのワールドカップのときに唐丹の総合型クラブの人たちがラグビーのワールドカップって何だか、ラグビー場も見たことない人たちを貸切

バスで連れてきたんだけれどもすごく感動してるので。ラグビーはなんだかわからないんだけど。トライもよくわかんないし、なんであんなところで蹴るんだとか。黙って前に投げた方が早いとか。でも来て喜んでた。それがさっき言ったラグビー少年団の価値につながる。じゃあ何をやるかってことで、去年はコロナで中止になったけれどもスポーツ少年団の野球の交流大会を釜石に誘致したんです。それが無くなり今後何をやるかってことで来年にマスターズの軟式野球の全国大会と大きなイベントを予定している。インパクトを与えて、あの競技見て楽しかったな、あの競技やってみたいなという大人や子供たちが出てくればそれが一番の成功かなと。指定管理者としては一番の成功かなと思ってます。ただ球場、施設を貸し出して指定管理だというのでは小泉会長の話であれですけれども、違うと思ってやってるつもりでした。何かをやってやらなければ。

事務局：ありがとうございます。今のは基本目標4のスポーツ施設の利用促進のところに非常につながる良いお話だったと思います。まさにこのスポーツ推進計画も来年度から新しい計画となるわけですが来年の4月からまた市内のスポーツ施設の新しい指定管理の期間が始まります。我々もスポーツ推進計画に基づきまして来年度の指定管理を請け負って頂くところといろいろと連携して協議をすすめながら、自主事業をどれだけ展開させるかとか施設の利用促進にもつながる形で市民の健康増進にもつながる形でこの指定管理をうまくまわしていければなと考えておりますので、その基本目標4の部分についてももう少し中身を膨らませた形で考え方を頂きますのでよろしくお願ひ致します。ありがとうございます。

委員：小学校の立場で言うと、今年度いつも12月に実施しているタグラグビーのサントリーカップの県知事杯が鵜住居復興スタジアムで実施予定だったんですけど、コロナ禍で流れてしましましたが、12月に奥州市で開催することで、先週連絡が入りました。うちの学校も細々と練習を始めたところなんですが、折角向こうの団体からスタジアム利用のオファーがあったもののコロナ禍で流れてしまい、内陸開催に戻ってしまうのはすごくもったいなと思っているので、それを指定管理者が積極的にそういう団体に声を掛け誘致をするなど是非取り組んでほしいなと言うのが一つ。それと先ほどから出ている保護者の意識という部分もその通りで11月14日に復興スタジアムでやるメモリアルイベント、子供達の参加も要請があったので声を掛けると子供たちはやりたいと行ってみたというんですが、資料を保護者に渡すと家庭の都合で参加できず。結局、うちの規模でも探すのにすごく苦慮しました。結果的に、参加する子供さんはイベントの割り当てられた時間帯だけでなくイベントスタートの段階から参加したいという意見がありました。児童にとってそれだけの魅力があったからこそ参加したのだと思います。先ほども根浜の話がありましたがグリーンツーリズム体験と大会を夏休み中とかにマッチングさせて宿泊を促すとか。色々な関係団体との連携もすごく大事だなと思いました。

最後、中学校の部活に関わってです。本来のスタートは地域のスポーツに中学生がなかなか全員部活参加だと参加できない。たとえば私前任が零石だったんですが新体操に入りたい子供がいたけども部活所属すると時間帯が重なってしまってダメだと。そういう子どもたちが要するに部活に参加しなくてもそっちのクラブチーム行ける。すでにサッカーでも問題になっているようにクラブチームに所属してると中体連のサッカーには出

場できないというルールになっていて、しょうがないから中学校の部活は別な部活に所属するっていう変な話があったんですが、そういうところからの中学の部活動は強制参加ではないとなりました。しかし地方になればなるほど田舎になればなるほどそことマッチングしないんですよね。なので、首都圏での発想が地方にも回ってきてるのでそこをなんとかしなきゃいけないと考えると中学校の部活に地域の指導者が入ってくるっていう方法もありかなって思っているところです。以上です。

委 員：スポーツ施設の利用促進というところで前の計画では環境の充実って言う言葉があって、今回抜けてるっていうところなんんですけど、ある程度の施設整備は終わったものの、これから修繕とか改修ってことになると当然 10 年間もあれば進めいかなければならないと思うので、環境の充実っていうのはハードだけではないんですけど、言葉をもう 1 回入れたほうがいいのかなって思ってました。なのでスポーツ施設の環境の充実と利用促進とか、あとは環境の下の方の中で環境の充実っていうところに環境のさらなる充実とかっていうふうな形で強調していけば、施設を整備しながら利用を促進してっていう、そこにさっきの指定管理のことだったり、自主事業だったりって言うのが絡んでくればいいんじゃないかなと言う風に思ってました。

委 員：今回、主任児童委員という立場で参加させて頂きましたけれども、放課後子ども教室のほうでスポーツをスポーツ推進委員さんにお願いしていろいろ活動して頂いてます。昨年度、今年度はコロナということで全然ご協力を頂けなかった、活動して頂けなかったんですけど、やっぱり今の子供達は興味があってもなかなか手が出しづらいと言うか、1 回まずやってみれば楽しいことがわかるので、そういうところでどんどんスポーツの魅力を発信したいと思っています。初めて参加させて頂いたので圧倒されるような状態なんんですけど、いろいろこれからもご協力をよろしくお願いします。

会 長：どうもありがとうございました。こういうところで今日は。事務局にお返しします。よろしくお願いします。

事務局：はい、ありがとうございます。すみません、私の説明が長くて申し訳なかったんですけど、今日、委員のみなさんから出された意見を基本目標 1 から 4 番まではこの通りで進めさせてもらうことにして、あとは内容を膨らませて充実させていきたいと思います。いずれさっきスケジュールでも示した通り、だいたい来年の 2 月初旬くらいまでには新たな計画、案を策定致しまして委員の皆様にもお示しして意見等頂きたいと思います。それでは以上を持ちまして、令和 3 年度第 1 回目のスポーツ推進審議会を閉会させて頂きたいと思いますけれども、最後に課長のより閉会をおねがいします。

事務局：本日はありがとうございます。皆さまからたくさん意見を頂きました。この意見を反映させながらスポーツ推進計画を作っていくたいと思います。生涯スポーツ・競技スポーツ等釜石市のスポーツをどうしていくかということを我々もきちんとと考えながら進めていきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

(10) 閉会 20:10 事務局より閉会を宣言。